

代表質問

市民の心が明るく希望を持てるような大牟田の未来を



自由民主党議員団
森 竜子 議員

命化や統廃合を行い、市債発行額の抑制や基本残高の確保に努める。

32年度予算編成では経常経費の3%削減を行い、財源の効果的・効率的な活用に取り組む。

行財政運営は市民の理解を深めながら

問 当初予算の段階で財政調整基金から7億円の繰り入れが計上される厳しい財政状況の中、どのような視点で予算編成したのか。

答 事業の廃止や休止、事業費の縮減を行う一方で、積極的な事業展開を行い、誰もが住みやすくあらゆる世代が成長できるまちづくりを進める必要がある。そのため、新規・拡充事業も計上しながら、まちづくり総合プランに掲げる、人が育ち、人でにぎわい、人を大切にするほっとシティおおむたの実現に向け取り組む。



問 財政負担を将来、子供や孫に背負わせることになるのではという不安もあるが、財政構造強化指針における今後の見通しと対応策は。

答 将来世代へ負担を先送りしないため、公共施設の長寿

市庁舎整備の議論はスタートしたばかり

問 庁舎整備に係る市民アンケートは改修して維持、建て替えてもよいの二択で本館の活用方法を検討する選択肢がない。これで市民意見を反映したと言えるのか見解は。

答 庁舎をどうするかという議論を進めてきた中で、アンケートでは庁舎の持つ歴史性やシンボル性を十分説明した上で、回答いただいている。

問 基本方針案の説明会で出された市民からの意見・要望についてどう対応するのか。

答 様々検討した結果、現在の敷地を総合的に活用して一体的に庁舎を整備する方が市民の福祉につながると考える。意見はしっかり受けとめ、

市民理解を深め、進めたい。

問 基本方針案は2月に示されたばかりで、まだ議論の過程にある。様々な意見・要望、データ不足が指摘される中、現状での是非を問うのか。

答 様々なシミュレーションなどを経て方針を出しており、議会の理解を得て進めたい。

絵本ギャラリー運営は有効な活用方法が重要

問 絵本ギャラリーを有効に活用していかなければ運営費も含め、計算通りにはいかない。絵本に限らず、郷土出身の漫画家や作家、スポーツ選手など、多方面で活躍している方の企画展や他の施設、商店街等と連携したイベントの開催なども必要なのでは。

答 関係団体の皆さんにも十分意見を聞きながら、具体的な事業も検討したい。

問 市民が親しみ、みんなで活用し、育てる施設となるよう名称を募集してはどうか。

答 来園者に親しまれる名称を市民公募も含め検討したい。

学校再編整備では市民意見の反映を

問 学校再編整備の中間見直しに当たって市民から出された意見をどう反映するのか。

答 学校の規模、通学距離や区域、学校施設の整備などの様々な意見・要望を参考とし、将来に向け、よりよい教育環境を描きながら取り組みたい。

学童クラブの利用時間延長はモデル的に実施

問 地域ニーズなども踏まえ、実施可能な所からモデル的に学童保育所・クラブの利用時間延長に取り組めないか。

答 労働条件や人員確保などの課題への対応を検討していく中で、モデル的な実施も選択肢の一つとして考えている。